

監督・競技者注意事項

1. 規 則

競技は2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

2. 練習について

- (1) すべての練習は、多目的グラウンドを利用すること。なお、競技場周回ジョギングコースでのスパイクの使用、集団走、ペースを上げたジョグは禁止する。(一般市民との接触事故に注意すること。)
- (2) すべての練習は、審判員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。
- (3) スパイクを使用した練習は、100mと200m、およびハードル競技中のみ、バックストレートを開放する。
- (4) 投擲種目の投擲物を利用した練習は、招集完了後フィールド内に移動し、指定された場所において大会主催者が準備したもので練習を可とする。
- (5) 主競技場での練習は、8時00分まで可とする。

3. 競技場について

本競技場は全天候舗装であるので、競技規則第143条④を適用する。したがって走路の保全と競技者の安全のため靴底から外部に出ているスパイクの長さは9mmを超えてはならない。ただし、走高跳の場合は靴底もしくはかかとから外部に出ているスパイクの長さは12mmを越えてはならない。

靴底の高さは走高跳・走幅跳は13mm以内、走高跳の踵の高さは19mm以内とする。その他の種目の厚さ高さとは自由である。

4. 招集について

- (1) 競技者は招集完了時刻5分前に競技者控え所(第3ゲート(200mスタート地点)外側・トイレ横)に集合し、競技者係の点呼とユニフォーム・ナンバーカード及びスパイクのピンの長さの確認を受け、待機する。
- (2) 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場するものは、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (3) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。(尚、事前に棄権することが明らかなき場合は招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。)
- (4) 四種競技出場者は最初の種目(男子110mH、女子100mH)は、招集所で点呼を受け、その他の種目については混成競技係の点呼を受ける。もしも2種目目以降を棄権する際は、現地で混成競技係に申し出る。
- (5) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	
トラック 競技	25分前	15分前	
フィールド 競技	高・幅	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前
	砲丸投	50分前	40分前

*四種競技の2種目目以降の招集は、競技開始時刻の10分前(トラック)20分前(フィールド)に現地で行う。

5. 入・退場について

競技者は招集完了と同時に競技場へ誘導されるので、係員の指示に従い入場し、競技終了後も指示に従い規律ある行動をとること。

6. 競技方法について

- (1) スタート合図はイングリッシュコマンド(On your marks:オン・ユア・マークス, Set:セット)で行う。不正スタートは1回で失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
- (2) トラック競技予選の走路順, フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。
- (3) 決勝の走路順は本部で抽選し, 招集所に掲示する。
- (4) リレー競技に出場するチームは, リレーオーダー用紙を1部作成し, 招集完了1時間前に招集所競技者係に提出する。(リレーオーダー用紙は, 招集所に用意する。)
- (5) 800mについては, すべて2組タイムレースとし, リレーは4組タイムレースとする。
- (6) 走高跳, 棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。ただし, 諸条件(悪天候)などにより, 審判長の判断で高さを変更することもある。

	学 年	練 習	競 技
男子走高跳	1年	1. 35	1. 40~1. 45~1. 50~1. 55~1. 60~1. 65~
	2年	1. 45	1. 50~1. 55~1. 60~1. 65~1. 70~1. 75~
女子走高跳	1年	1. 20	1. 25~1. 30~1. 35~1. 40~1. 45~1. 50~
	2年	1. 25	1. 30~1. 35~1. 40~1. 45~1. 50~1. 55~
四種走高跳	共男	1. 25	1. 30~1. 35~1. 40~1. 45~1. 50~1. 55~
	共女	1. 10	1. 15~1. 20~1. 25~1. 30~1. 35~1. 40~
棒高跳	2年	2. 30	2. 40~2. 50~2. 60~2. 70~2. 80~2. 90~

- ①最後の1人になり優勝が決まるまでは, 上表の上げ幅を変えてはならない。ただし, 残っている競技者が2人以上でも, 全員の同意があれば第181条4(a)(b)を適応しないで, 県記録を超える高さにバーを上げることができる。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは, 走高跳2cm, 棒高跳5cmとする。

7. 表彰について

- (1) 男女別3位までの地区に賞状を授与する。
- (2) 男女別優勝校に優勝旗・3位までの学校に賞状を授与する。
- (3) 男女別学年別優勝校に賞状を授与する。
- (4) 個人8位までに賞状を授与する。

8. 用器具について

用器具は競技場のものを使用する。ただし, 棒高跳のポールは招集後に現地で検査を行う。合格したものに限り個人所有のものを使用することを認めるが, 競技進行中跳躍審判員が随時点検する。

9. その他

- (1) やむを得ず棄権するときは, 競技者係に申し出る。
- (2) ランニングシャツは, 確実にランニングパンツの中に入れて競技をすること。
- (3) 医務室は, スタンド下に置く。
- (4) 更衣については, 男女ともメインスタンド更衣室を使用してもよい。
- (5) 盗難防止については, 各自注意すること。不審な行動をする方を見かけたら, 近くの競技役員まで知らせる。
- (6) 競技場内は, 競技者, 役員, 補助員以外は立ち入らないこと。
- (7) メインスタンドには, スパイクで入らないこと。
- (8) 応援は, 競技運営に支障を来したり, 観客の邪魔にならないようスタンドで行うこと。
- (9) ごみは, 持ち帰ること。
- (10) 商社名等のついたものは競技場内に持ち込まないこと。(バックは25㎤以内は可)
- (11) ピットについて
走 高 跳 Aピット…第1コーナー寄り Bピット…第3コーナー寄り
走 幅 跳 Aピット…メインスタンド寄り Bピット…トラック寄り
砲 丸 投 Bピット…第4コーナー寄り
- (12) 各校のベンチは, ホームストレート以外の芝生スタンド及び健康広場の指定された場所とする。
- (13) 横断幕・のぼりの設置は指定された場所のみとする。
- (14) 各校のリレーで使用するスタート用のマークは, 白色のテープを使用すること。